

寄付金のお礼

2020年度 寄付金総額 1,321,314円
寄付頂いた方 47名

このたび、ご寄付をくださったNPO会員の皆様におかれましては、当法人の活動にご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。皆様からお寄せ頂いたご厚意は、貴重な財源として事業運営に活用させて頂き、より一層専門支援の充実を図る所存です。今後とも、当法人事業への応援について宜しくお願い申し上げます。

寄付金のお願い

私共法人の理念は、制度の間にある人への支援を検討し、全国に普及啓発することであり、若年性認知症や高次脳機能障害の人のための専門施設が、その専門性を発揮して、安心・安全に運営を継

続することが、何より大切なことと考えております。当法人の理念や活動に共感いただき、応援して下さる方は、大変恐縮ですが寄付金によるご支援、ご協力を賜われればありがたく存じます。NPO法人は、賛助会員の皆様による事業の応援によって運営が成り立っております。皆さまのご理解とご協力を願います。

【ご寄付は以下の口座で承っております】

- 三井住友銀行
店番号 094 学芸大学駅前支店
口座番号 6711899
口座名 特定非営利活動法人 いきいき福祉ネットワークセンター
- ゆうちょ銀行
記号 10000 番号 95750581
口座名 特定非営利活動法人 いきいき福祉ネットワークセンター

目黒区高次脳機能障害者支援センターいきいき*せかんど 就労継続支援B型 製品紹介 フロランタン（今年度より通年販売となりました）



サクサクのクッキー生地の上にキャラメルアーモンドをのせて焼いた、フランス生まれの焼き菓子です。1個100円

新しく販売場所が増えました！

- 福祉の店「COHANAーコハナー」にて2021年8月24日(火)より委託販売開始。
- 営業時間11:00~15:30
- 定休日:毎週日・月曜日、祝祭日
- 住所:目黒区八雲1-1-10
- 電話:03-3718-1088

限定・通常商品ともに、電話またはHPより受付しています。下記でも販売しています。
目黒区役所(第1・3金曜 11:30~13:00頃)
さんまるしえ(月~土 11:00~19:00 目黒区目黒本町1-14-24)

受注作業の依頼をお待ちしています！

就労継続支援B型では、一般企業等からお受けして行う受注作業を募集しています。現在は、区内のお寺から供養されたお財布を受け取り解体する作業を行っています。軽作業など、できそうなお仕事があれば、一度お問い合わせ頂けると嬉しいです。



会員とは

- NPO法人の会員とは、主に賛助会員で構成され、事業活動を理解して応援して下さる方をいいます。
- 当NPO法人の場合、若年性認知症や高次脳機能障害の啓発活動を応援して下さる方が会員となります。
- 施設利用の有無に関わらず、応援することができます。

会費とは

- 事務局の運営、並びに通信の発行や講座等の啓発活動に使われます。
- 【会費】 ■入会金…1,000円 ■年会費…1,000円

新規NPO会員のみなさま

今回、9名の方にご入会頂きました。ありがとうございました。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます

編集後記

東京は新型コロナ感染症がまだまだ収束の気配が見えませんが、職員・ご利用者ともに感染者なく現在まで過ごせています。引き続き感染対策に努めながら運営してまいります。

発行所: 特定非営利活動法人 いきいき福祉ネットワークセンター
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 5-12-1-3階 TEL03-3713-8207 FAX03-6808-8576
Mail info@ikikifukushi.jp HP http://www.ikikifukushi.jp

いきいき通信

Vol.46
Aug.31th 2021

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大きな生活環境の変化を求められた1年でした。当法人では、コロナ禍の中でも、高次脳機能障害・若年性認知症のご本人・ご家族が安心して地域社会で社会参加できる社会を目指して活動してきました。そんな2020年度の活動をレポートにまとめました。今年度も万全な感染対策を図りながら、1日も早い収束を願い、変わらずより良いサポートを職員一同模索しながら取り組んでいきたいと思っております。

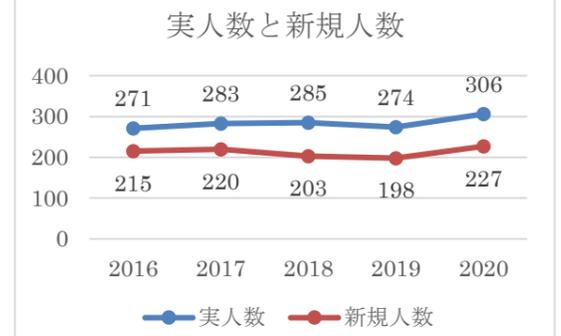


いきいき 2020 活動レポート

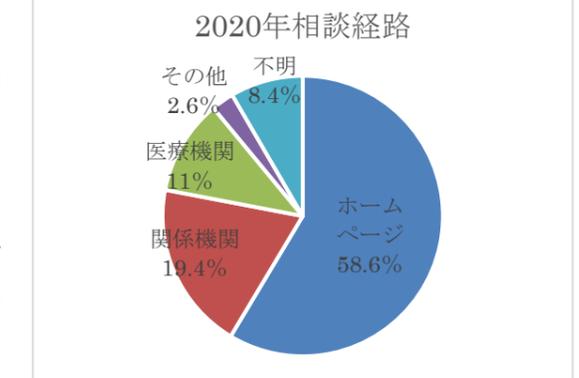
&2021 予定

【東京都若年性認知症総合支援センター】

相談事業



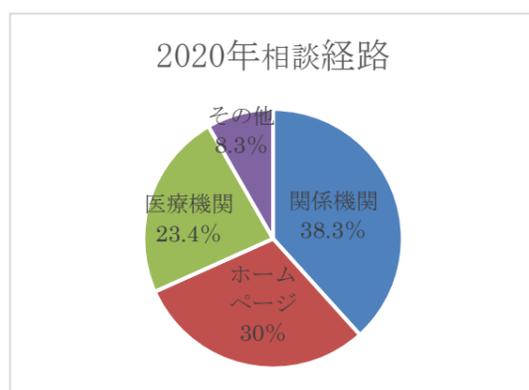
相談件数・相談者数・新規相談者数ともに前年比増の結果で、コロナ禍による直接的な影響は大きく受けませんでした。相談経緯としてはホームページが第1位であり、診断後に医療機関からつながる数はまだまだ少ない現状のため、今後も啓発・連携に努めていきたいと思っております。また、昨年度初の取り組みとしてオンライン相談も開始し、来所が難しい遠方にお住まいのご家族にご活用頂くことができました。ただし、ほとんどの相談者の方は実際にお会いしてお話する機会を求めておられ、来所・訪問相談の大切さを改めて感じる機会となりました。新規事業としては「ピアサポーター活動」の開始(今年度予定は2面参照)、例年実施の地域包括支援センター職員への相談支援研修はオンラインでの取り組みになり約200名の方が修了されました。



【目黒区高次脳機能障害者支援センター】



若年性認知症相談同様、相談件数、相談者数、新規相談者数ともに前年比増の結果でした。そのうち、当法人運営の通所施設「目黒区高次脳機能障害者支援センターいきいき＊せかんど」「いきいき＊がくだい」のご利用につながったのは、それぞれ約8名、11名でした。相談経緯は医療機関・関係機関を合わせると約6割で、主に入院からの支援となっています。ただし、中には退院後ご家族が自ら調べてご相談に至るケースもあり、近隣区医療機関との連携は引き続き課題と思われます。事業は、委託元の目黒区と協議の上、ほとんどが集合形式での実施を見送りましたが、オンライン、啓発チラシの配布など、コロナ禍での関係機関とのネットワーク模索した1年でした。



2021 予定

【東京都若年認知症総合支援センター】若年性認知症ピアサポーター

今年度第1回目の活動を7月2日(金)に実施しました。「病気の診断を受け今後どうしたら良いのか」と漠然とした当事者のご不安ごとに対し、ピアサポーターの方より、自身の経験を交えたアドバイスがたくさん挙がりました。終了後は、当事者の方より「病気であるのが自分だけではないと分かり、心強く感じた」との感想が聞かれ、事業に参加いただいたことで、ご不安ごとの解消につながった様子でした。



ピアサポーターへの事前研修の様子

ご家族や支援者には話しづらいことも、同じ立場の者同士であれば悩みを分かちあえることや共感しあえることがあるかもしれません。若年性認知症の当事者のピアサポーターとお話してみたいという方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください。TEL:03-3713-8205 担当:野々山・川島

【目黒区高次脳機能障害者支援センター】医療相談会のお知らせ

毎年、高次脳機能障害専門の医師による医療相談会を開催しています(目黒区民対象)。専門的な見地からの医療的なアドバイスを受けたい方、対応方法などで悩まれている方、未診断で高次脳機能障害ではないかと心配になられている方、などのご相談をお受けいたします。今年度は8月に第1回を実施しました。第2回は10月5日(火)の予定です。ご希望のある方は、お気軽にお問い合わせください。TEL:03-6808-8575 担当:坂田・川島

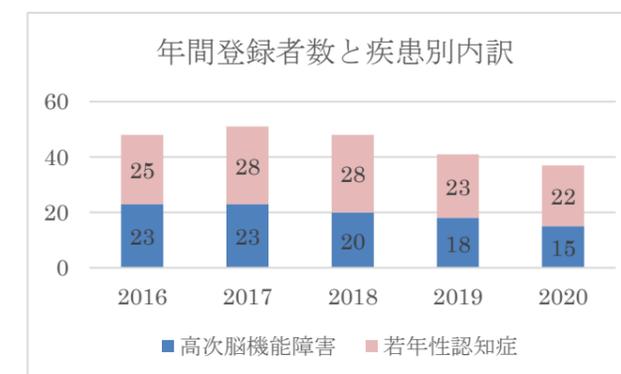


通所事業① 目黒区高次脳機能障害者支援センターいきいき＊せかんど



自立訓練では、開所日数・時間ともに例年と変わらず実施しました。就労支援については、特に復職を目指すご利用者様が多く、職場との調整を図りながら3名の方が無事復職に至り終了しています。区民の方については、目黒区高次脳機能障害者支援センターが復職後も面談など定期的を実施しながら、職場定着が図れるようにフォローを継続しています。就労継続支援B型は、半日での通所に変更して実施しています。コロナ禍でお祭りやイベントなどがなくなったことで、ご利用者様にとってお客様と直接交流できる機会が失われたことは残念ですが、新作商品の開発も随時取り組んできました。新しい区内販売場所も今年度から増える予定です(4面参照)。平均月額工賃は、約3,000円でした。

通所事業② いきいき＊がくだい



コロナ禍で、外出活動は大幅に制限を受ける形となりましたが、感染状況を見ながら活動のロードマップに添って活動内容を工夫しながら取り組みました。地域・社会参加の促進を目的に、恒例の清掃活動・地域の見守り活動、就労グループ活動は変わらず実施を続けました。就労グループ活動での「ちんすこう製造」では、区役所での利用者による直接販売も行いました(右写真)。

